

令和7年(1月～12月)労働災害の発生状況

労働者死傷病報告(休業4日以上の死傷災害)により作成

()内の数値は死亡者数(内数)を表す

新型コロナウイルス感染症のり患者数を除く

(1)業種別の労働災害発生状況(対前年比)

3月集計

【表1 業種別の労働災害発生状況】

西脇労働基準監督署

業 種	令和7年(1月～12月)			前 年 同 期			前 年 比 較			
	死傷者数 (人)	構成比 (%)		死傷者数 (人)	構成比 (%)		増減数 (人)	増減率 (%)		
全 産 業	277 (1)	100.0%	(100.0%)	293 (2)	100.0%	(100.0%)	-16 (-1)	-5.5%	(-50.0%)	
第一・二次産業計 (運輸交通業、貨物取扱業 を 含 む)	161	58.1%	()	193 (2)	65.9%	(100.0%)	-32 (-2)	-16.6%	(-100.0%)	
製 造 業	92	33.2%	()	108	36.9%	()	-16 ()	-14.8%	(-)	
鉱 業	1	0.4%	()	2	0.7%	()	-1 ()	-50.0%	(-)	
建 設 業	17	6.1%	()	27 (1)	9.2%	(50.0%)	-10 (-1)	-37.0%	(-100.0%)	
運 輸 交 通 業	38	13.7%	()	36 (1)	12.3%	(50.0%)	2 (-1)	5.6%	(-100.0%)	
貨 物 取 扱 業	3	1.1%	()	8	2.7%	()	-5 ()	-62.5%	(-)	
農 林 業	7	2.5%	()	11	3.8%	()	-4 ()	-36.4%	(-)	
畜 産 ・ 水 産 業	3	1.1%	()	1	0.3%	()	2 ()	200.0%	(-)	
第三産業計 (運輸交通業、貨物取扱業 を 除 く)	116 (1)	41.9%	(100.0%)	100	34.1%	()	16 (1)	16.0%	(-)	
商 業	卸 売 業	5	1.8%	()	5	1.7%	()	()	(-)	
	小 売 業	18	6.5%	()	18	6.1%	()	()	(-)	
	上記以外の商業	5	1.8%	()	5	1.7%	()	()	(-)	
	計	28	10.1%	()	28	9.6%	()	()	(-)	
通 信 業	1	0.4%	()	8	2.7%	()	-7 ()	-87.5%	(-)	
保 健 衛 生 業	医 療 保 健 業	9	3.2%	()	12	4.1%	()	-3 ()	-25.0%	(-)
	社会福祉施設	22	7.9%	()	15	5.1%	()	7 ()	46.7%	(-)
	上記以外の保健衛生業			()			()	()	- (-)	
	計	31	11.2%	()	27	9.2%	()	4 ()	14.8%	(-)
接 客 娯 楽 業	飲 食 店	11	4.0%	()	2	0.7%	()	9 ()	450.0%	(-)
	ゴ ル フ 場	12	4.3%	()	12	4.1%	()	()	(-)	
	上記以外の接客娯楽業	16	5.8%	()	6	2.0%	()	10 ()	166.7%	(-)
	計	39	14.1%	()	20	6.8%	()	19 ()	95.0%	(-)
清 掃 ・ と 畜 業	ビルメンテナンス業	2	0.7%	()			()	2 ()	- (-)	
	廃 棄 物 処 理 業	8	2.9%	()	1	0.3%	()	7 ()	700.0%	(-)
	上記以外の清掃・と畜業			()			()	()	- (-)	
	計	10	3.6%	()	1	0.3%	()	9 ()	900.0%	(-)
そ の 他 の 事 業	警 備 業	2 (1)	0.7%	(100.0%)	1	0.3%	()	1 (1)	100.0%	(-)
	上記以外のその他の事業	2	0.7%	()	8	2.7%	()	-6 ()	-75.0%	(-)
	計	4 (1)	1.4%	(100.0%)	9	3.1%	()	-5 (1)	-55.6%	(-)
金 融 広 告 業	1	0.4%	()	1	0.3%	()	()	(-)		
映 画 演 劇 業			()			()	()	- (-)		
教 育 研 究 業			()	5	1.7%	()	-5 ()	-100.0%	(-)	
官 公 署	2	0.7%	()	1	0.3%	()	1 ()	100.0%	(-)	
(陸上貨物運送業)	38	13.7%		43 (1)	14.7%	50.0%	-5 (-1)	75.0%	(-)	

注 第三産業は通常、非工業的業種に運輸交通業、貨物取扱業を加えたものをいいますが、ここでは、非工業的業種の一業種(商業、通信業、保健衛生業、接客娯楽業、清掃・と畜業、その他の事業、金融広告業、映画演劇業、教育研究業、官公署)を第三産業と呼んでいます。